

東京農大生が公園整備

鮫川で緑地工学実習



鮫川村と連携協定を結んでいる東京農大の緑地工学実習は十三日まで、村内で行われている。学生が教授や地元の住民らの指導を受けながら、村内施設の整備に協力し、緑地工学を学んでいる。

きょうまで 遊歩道など草刈り

七日から十日までと、十日から十三日までの二班に分かれ、それぞれ三泊四日の実習に臨んだ。

後半の班には十三人が参加した。初日の午後から、村が桃源郷づくりを掲げる鮫山公園を訪れ、園路と遊歩道づくりの実習に入った。

鮫山公園の整備に努める東京農大の学生

た。周辺を草刈りして、スコップやハンマーを手に、利用しやすいように整備を施した。

村のもりづくり百年委員会(鈴木一良委員長)と共同で木の剪定(せんてい)も行った。最終日は景勝地の鹿角平観光牧場、江竜田の滝を巡る。

前半の日程に参加した学生たちは、村農村体験交流施設「山王の里」を中心に、周辺の下草刈りなど景観整備の労力奉仕作業に当たったほか、村内江滝田地区の山林で、ヒノキの間伐作業に汗を流した。